

#保育園に
入りたい!!

希望するみんなが 保育園に入れる社会をめざす会

「幼児教育無償化の範囲等に関する検討会」
ヒアリング資料

2018年4月13日

「希望するみんなが保育園に入れる社会をめざす会」とは

当事者を見える化する



SNSに溢れた不承諾通知

当事者の声を集める



1人1人の保活ストーリー

#保育園に
入りたい!

当事者の声を届ける



3万筆の署名

当事者をつなぐ



議員会館でのイベント開催

無償化に至るプロセスを当事者目線でチェック

幼児教育・保育の役割

第4回 人生100年時代構想会議（平成29年12月19日）
資料1-1より抜粋

調査1

20代や30代の若い世代が理想の子供数を持たない最大の理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」である。

国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査（夫婦調査）」（2015年）によると、妻が50歳未満である初婚同士の夫婦のうち、予定子供数が理想子供数を下回る夫婦を対象に行った質問（妻が回答）において、理想の子供数を持たない理由（複数回答）について、30歳未満では76.5%、30歳～34歳は81.1%が「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答している。

調査2

また、内閣府「結婚・家族形成に関する意識調査」（2014年度）によると「どのようなことがあれば、あなたは（もっと）子供がほしいと思うと思いますか」との質問に対し（複数回答）、「将来の教育費に対する補助」が68.6%で最も多く、次いで、「幼稚園・保育所などの費用の補助」が59.4%となっている。

このように、**若い世代には教育費への支援を求める声が多い**。子育てと仕事の両立や、子育てや教育にかかる費用の負担が重いことが、子育て世代への大きな負担となり、我が国の少子化問題の一因ともなっている。このため、**保育の受け皿拡大を図りつつ、並行して幼児教育の無償化をはじめとする負担軽減措置を講じることは、重要な少子化対策の一つである。**

2つの調査結果から「少子化対策＝無償化」と位置付けている 3

無償化に至るプロセスを当事者目線でチェック

調査1の結果

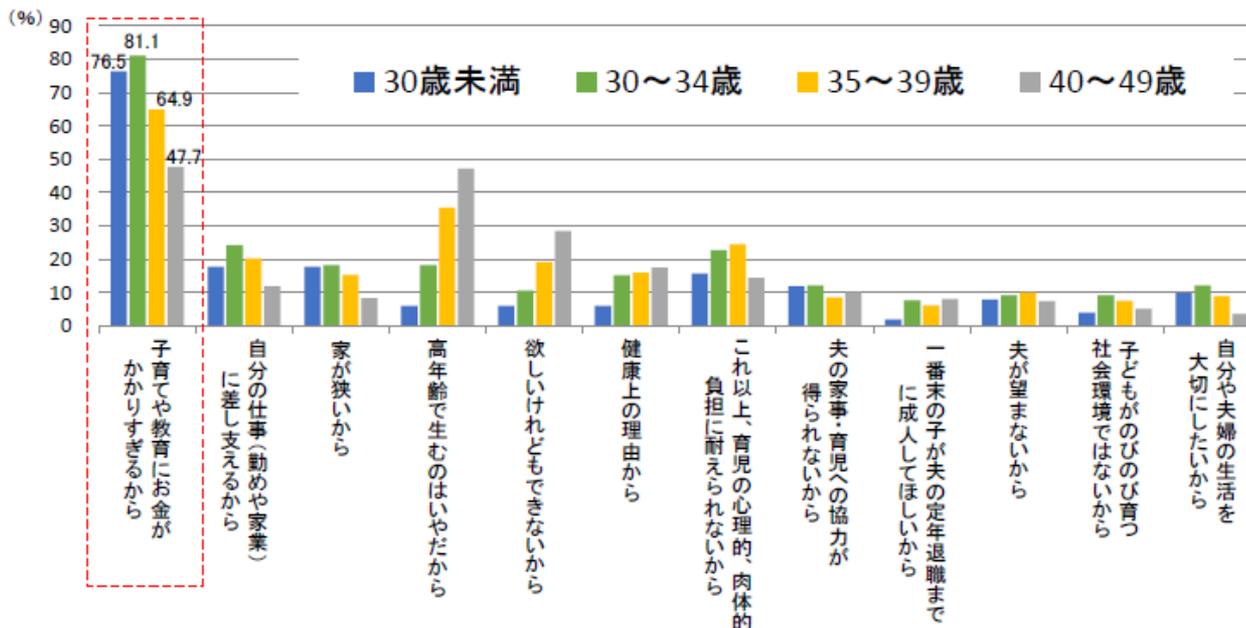
第4回 人生100年時代構想会議（平成29年12月19日）
資料1-2より抜粋

1. 幼児教育の無償化①

子育てや教育にかかる費用が少子化の要因の一つ

○ 理想の子供数を持たない理由（複数回答）について、30歳未満では76.5%、30～34歳は81.1%が「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と回答している。

妻の年齢別にみた、理想の子ども数を持たない理由（予定子ども数が理想子ども数を下回る夫婦）



(注)妻が50歳未満である初婚どうしの夫婦のうち、予定子ども数が理想子ども数を下回る夫婦(約3割)を対象に行った質問(妻が回答者)。

出典：国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査(夫婦調査)」(2015年)

2

子育てや教育にかかるお金、確かに不安です

無償化に至るプロセスを当事者目線でチェック

教育資金に不安を感じる理由

ソニー生命保険株式会社「子どもの教育資金に関する調査」

[対象] 大学生以下の子どもがいる20歳～59歳の男女1,000名

[期間] 2017.11.24～11.27

◆子どもの教育資金に不安を感じる理由 [複数回答] ※上位10位までを表示

対象:子どもの教育資金に不安を感じている人



「どのくらい必要となるかわからない」という漠然とした不安は無償化による数十万円の補助では解消されない
(当然、救われる世帯もいる)

無償化に至るプロセスを当事者目線でチェック

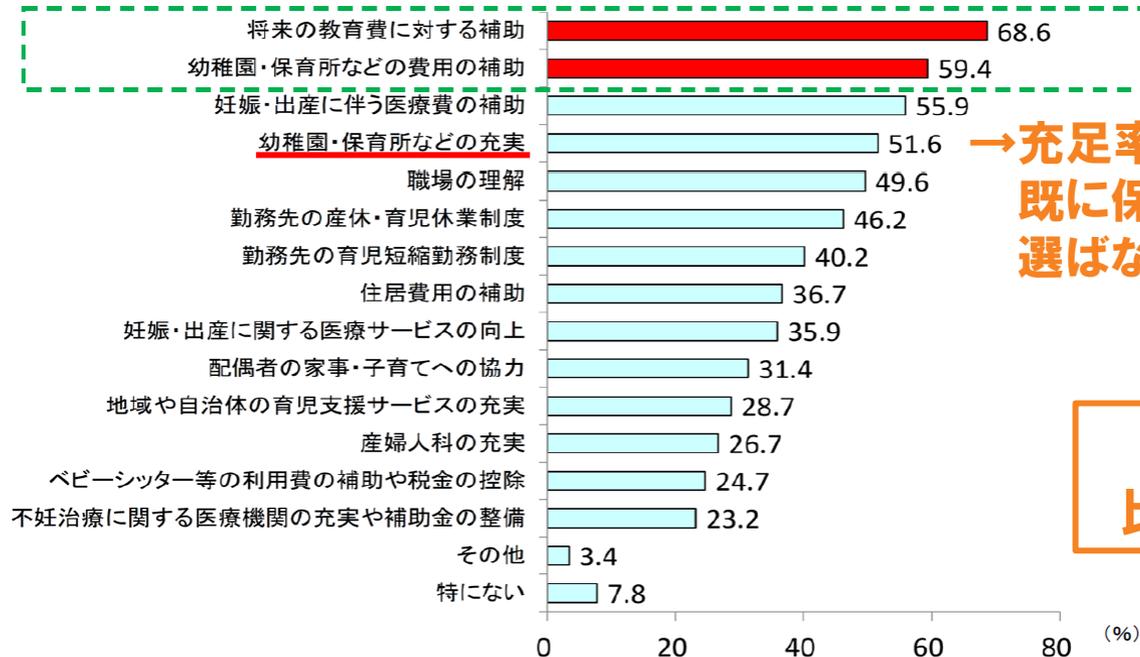
調査2の結果

第4回 人生100年時代構想会議（平成29年12月19日）
資料1-2より抜粋し加筆

1. 幼児教育の無償化②

教育費等への補助を求める意見が多い

○「どのようなことがあれば、あなたは（もっと）子供が欲しいと思うと思いますか」との質問に対し（複数回答）、「将来の教育費に対する補助」が68.6%、「幼稚園・保育所などの費用の補助」が59.4%となっている。



→費用補助のYes/No

→充足率の高い幼稚園の志望者や既に保育園に入れた人は選ばない選択肢

この両者を単純に比較するのはおかしい

出典：内閣府政策統括官（共生社会政策担当）平成26年度「結婚・家族形成に関する意識調査」より作成。

※20代、30代の男女を対象とした調査。

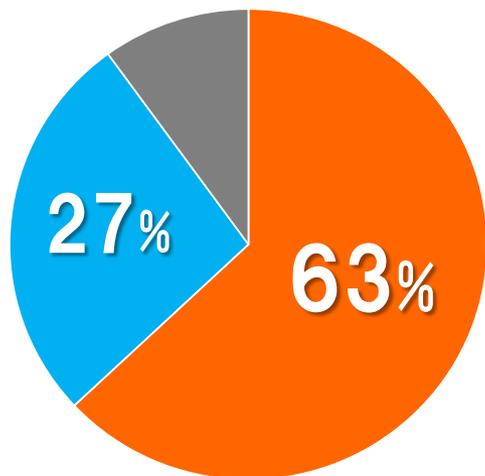
3

恣意的に「少子化対策＝無償化」へと導いたのではないか？

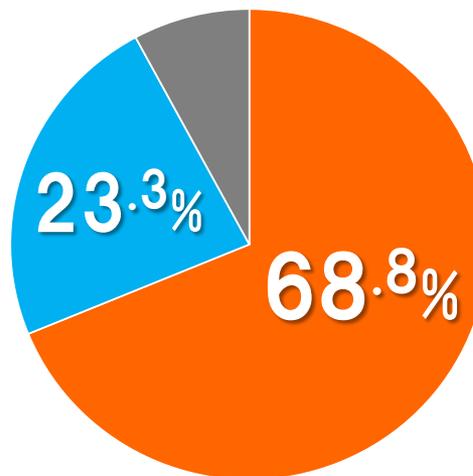
当事者の声は「待機児童の解消を優先してほしい」

メディア世論調査

■ 待機児童の解消 ■ 幼児教育・保育の無償化



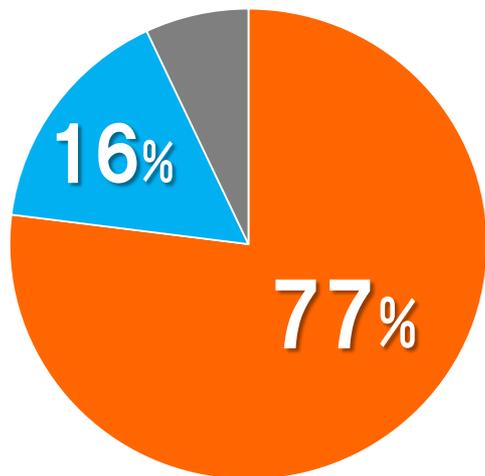
[調査実施者]
日本経済新聞・テレビ東京
[実施時期]
2017.12.15～12.17
[設問]
幼児教育・保育の無償化と待機児童の解消どちらを優先すべきか
[出所]
2017.12.22
日本経済新聞 電子版
『「待機児童の解消優先を」63% 本社世論調査』



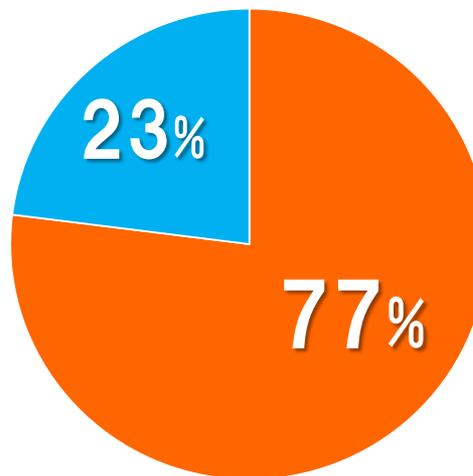
[調査実施者]
共同通信社
[実施時期]
2017.12.2～12.3
[設問]
幼児教育・保育の無償化と待機児童の解消どちらを優先すべきか
[出所]
2017.12.4東京新聞
『待機児童解消を優先68% 政府方針の幼児教育無償化 共同世論調査』

Twitterアンケート

■ 待機児童の解消 ■ 幼児教育・保育の無償化



[調査実施者]
希望するみんなが保育園に入れる社会をめざす会
[実施時期]
2017.10.13～10.20
[設問]
「幼児教育無償化」と「待機児童解消」、財源に制限があって両立が難しい場合、どちらの政策を優先してほしいですか？
[投票数] 6,064票



[調査実施者]
@mutouha_sou
(ロンドンブーツ1号2号田村淳氏のアカウント)
[実施時期]
2017.11.25～12.1
[設問]
保育園無償化？全入化？あなたのお考えは？
[投票数] 34,080票

限りある財源をどこに振り向けるか

調査2の年収別の結果

内閣府「結婚・家族形成に関する意識調査」(2014年度)
より抜粋し加筆

		N	妊娠・出産に伴う医療費の補助	妊娠・出産に関する医療サービスの向上	産婦人科の充実	不妊治療に関する医療機関の充実や補助金の整備	幼稚園・保育所などの充実	幼稚園・保育所などの費用の補助	地域や自治体の育児支援サービスの充実	ベビーシッター等の利用費の補助や税金の控除	将来の教育費に対する補助	住居費用の補助	配偶者の家事・子育てへの協力	自分または配偶者の親の家事・子育てへの協力	勤務先の産休・育児休業制度	勤務先の育児短縮勤務制度	職場の理解	その他	特にない	無回答
全 体		(2,643)	55.9	35.9	26.7	23.2	51.6	59.4	28.7	24.7	68.6	36.7	31.4	17.8	46.2	40.2	49.6	3.4	7.8	0.9
夫婦の年収 (既婚 離別別含まない)	400万円未満	(239)	64.0	39.3	28.5	23.8	51.5	70.7	23.8	21.8	83.3	46.9	25.5	11.7	43.9	41.0	48.5	2.1	2.9	0.4
	600万円未満	(433)	55.7	33.7	26.6	21.5	44.1	64.2	24.5	24.2	77.1	48.3	27.9	13.6	39.0	35.3	41.1	6.0	4.4	0.9
	800万円未満	(329)	46.8	27.4	24.3	19.8	44.7	60.2	28.9	24.9	70.8	37.1	28.9	16.1	38.9	37.4	46.8	4.6	5.5	0.6
	800万円以上	(253)	46.6	29.6	23.7	28.1	54.9	58.9	31.6	33.2	66.8	30.8	30.4	19.4	43.5	38.3	52.2	4.7	6.7	0.0

[低所得] 費用補助 & 幼保施設の充実の両方が必要

→ 幼保では負担軽減策が実施済み

→ 幼保施設の充実が必要

[高所得] 幼保施設の充実を求める声が相対的に高い

→ 幼保施設の充実が必要

- 所得に応じた無償化の範囲の絞り込み
- 効果の低い3~5歳児の無償化の先送り

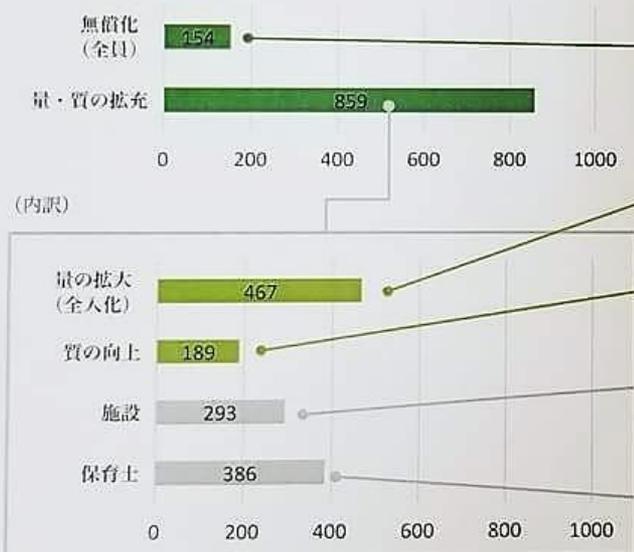
➡ 財源を有効に使ってほしい

署名31,327筆に込められた当事者の思い

署名コメントの分布

自由記入コメントでは、無償化の範囲よりも、サービスの量的・質的拡充に関する声が多い。

自由記入コメントの分布 (n=2152、重複あり)



具体コメント(例)

・無償化というならすべて無償化しないと意味がない！
・単なる無償化は、不平等感を更に広げるだけです！
・まずは公約通りすべての子どもたちを！

・まずは「待機児童」の解消を。
・優先すべきはみんなが入れること。

・無償でなくてもいいので質のいい保育を。

・まずは必要としている保育の受け皿を！
・その分の費用を建設費にしてほしい。

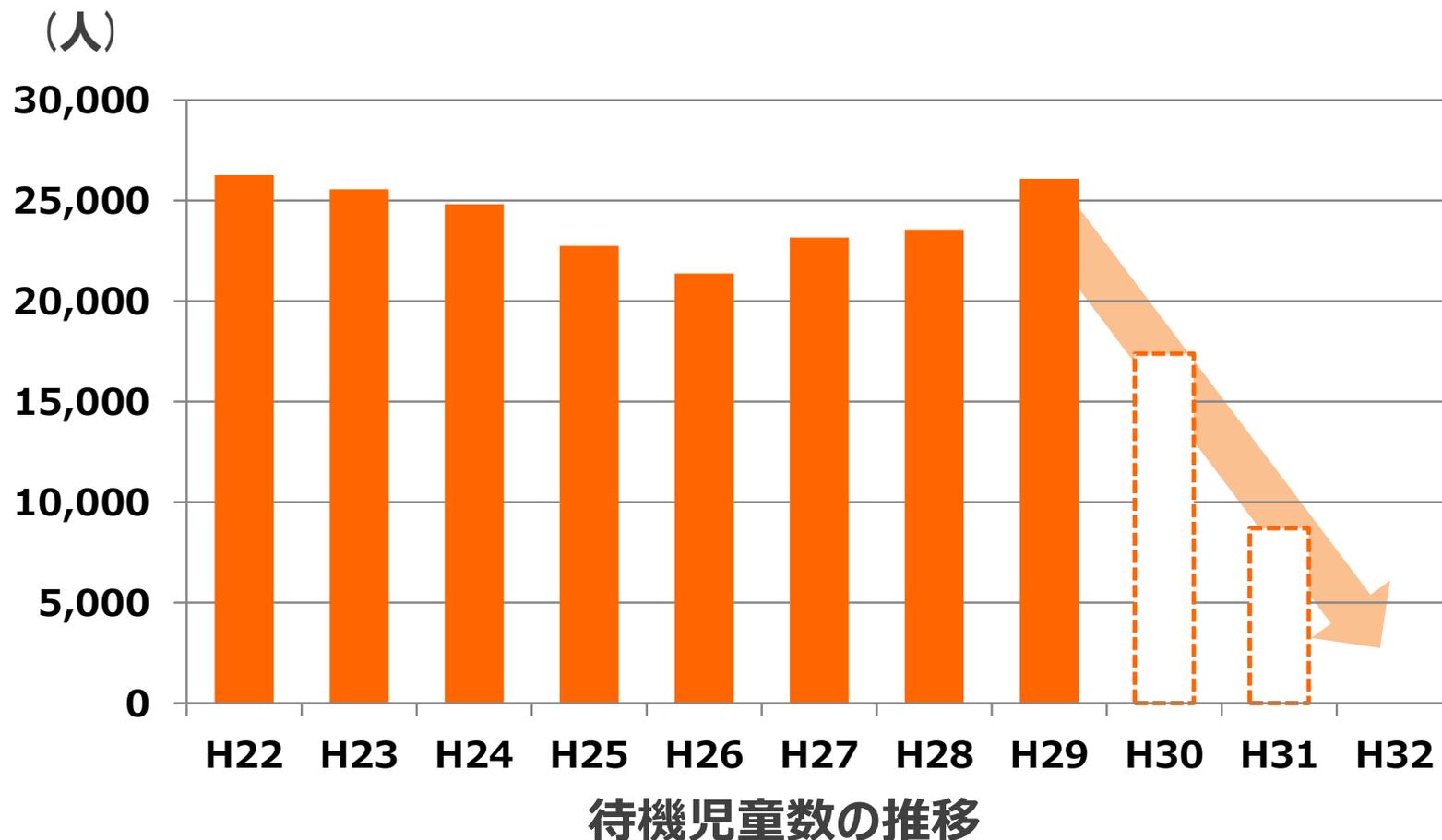
・賛同します。特に保育士の処遇改善。
・何より働いてくれる保育士の確保が必要です。

出典：希望するみんなが保育園に入れる社会をめざす会「幼児教育無償化に関する署名」データ(2017.12.11)を元に片山さつき事務所にて分析

1

- ・無償化は本当に必要とする人に絞って実施してください
- ・保育士の処遇改善および保育園・保育サービスの質と量の拡充を同時に進め、待機児童を解消してください

政府は2020年度末までに待機児童ゼロをめざすといっています



待機児童数を逐次チェックし、待機児童ゼロの目標達成の見通しが怪しくなった場合には、無償化の実施や範囲を見直してください

#保育園に入りたい!

パパもママも

共働きも専業主婦(夫)も

希望するみんなが

保育園に入れる社会をめざす会

<http://hoikuen-hairitai.com/>